



～地域と関わりながら～

YCS 通信第3号では、1・2学期に行われた地域交流や地域貢献活動の様子を紹介します。

児童生徒は、地域の方々の御協力を得て、様々な場所や人々と交流活動をしています。

この交流活動が、地域の多くの方々にゆり支援学校のよさ、児童生徒のがんばりを知ってもらえる機会になることを願っています。

小学部 地域資源を活用した 海洋性レクリエーション

小学部では毎年、西目 B&G 海洋センターを利用し、海洋性レクリエーションの体験をしています。今年度も低学年が7月2日、高学年が7月11日にセンター職員、齋藤邦夫さん御協力の下、体験しました。

低学年は、水中で身を守ってくれるライフジャケットの正しい着用の仕方を教えていただき、水に浮く体験をし、水中での活動を存分に楽しみました。

高学年は、サップの用具をセンターからお借りし、学校でサップの操作の仕方を事前に学習したことで、一人で安全にサップに乗れたと喜ぶ姿がたくさん見られました。

これからも地域の資源を活用し、普段なかなか経験できないような体験学習を設定していきたいと考えています。



中学部 中学部2年 象潟海岸クリーンアップ

7月8日(火)、HONDAが全国で開催している「Honda ビーチクリーン」にPTA保護者、中学部2年生、職員の20名が参加しました。本校からの参加は初めてでしたが、見事に晴れ渡ったとても暑い中、地域の方々と共に象潟海岸をきれいにしました。大きなごみもありましたが、小さなプラスチックごみが予想以上に多く、参加者は一つ一つ丁寧に拾い集めました。

中2の生徒は、長靴を履き、遠浅の海岸を広い範囲で歩き、韓国語の表記のあるゴミも複数見付けました。

地域のためにできることをみんなで頑張り、達成感を味わうと共に、環境について考えるととてもよい機会となりました。



高等部 高等部1年 菖蒲音頭講習会

高等部1年生では、「地域のよさを再発見」という学習を柱に、食や祭りなどを調べてきました。その中で地域に根ざしたイベントである「菖蒲カーニバル」と「菖蒲音頭」を知りました。しかし、「菖蒲音頭」を実際に踊ったことがない生徒がほとんどだったので、「キピー新山いきいきおどり教室」代表の鈴木依子様と佐々木溪子様の2名に来校していただき、御指導いただくこととなりました。

生徒は緊張していましたが、お二人の優しく朗らかな笑顔と「自分らしく踊るのが一番!」という言葉を受けて、あっという間にのびのびと踊り始めました。1曲終わっても「また踊りたい」と伝え、時間いっぱい踊り続けていました。

その後、三度にわたり来校していただき、御指導を受け、10月に行われたゆり支援フェスティバルのステージで高1全員が一致団結した菖蒲音頭を披露できました。会場からのたくさんの拍手を受け、生徒たちも、大変満足した表情を見せていました。

御指導いただき、本当にありがとうございました。



高等部

高等部 3 年 院内小学校での太鼓演奏

我ら 27 人の太鼓～心ノ炎～

高等部 3 年生は、にかほ市立院内小学校から太鼓をお借りしたことで、生徒たちにとっては最後のゆり支援フェスティバルで、27 人全員で太鼓演奏を披露することができました。

返却の際に、これまでの練習の成果を披露することで、直接お礼を伝えようと、直前まで練習を重ねました。当日、心をつにした素晴らしい演奏に、小学生から大きな拍手と「迫力があつた」「息がぴったりだった」等、うれしい感想をたくさんいただきました。

これまでの自分たちの努力が相手に喜んでもらえることを実感できた、貴重な経験となりました。



高・木工班

本荘幼稚園～キューブ型マグネット作り～

10月3日、本荘幼稚園の年長クラス 9 名とキューブ型マグネットの制作を通して交流を行いました。事前学習では、「園児に伝わる話し方や説明の仕方は・・・？」を自分たちで話し合い、練習を重ねました。

当日は、園児と目線を合わせ、優しい声の大きさを意識し、次はここだよ」「上手！」など園児一人一人に言葉を掛けたり、好きなアニメなどの話をしたりしながら楽しい雰囲気の中で活動しました。「やった！できたよ！」と喜ぶ園児の笑顔に、達成感を味わいました。また、交流のお礼として、ままごとキッチンを贈呈させていただきました。たくさんの園児に遊んでもらえたらうれしいです。

今後も日頃の学習成果を社会の中で生かせるよう、学校での取組に加え、地域の特色や資源を活用した活動を続けていきたいと考えています。



寄宿舍

ブラウブリッツ余暇活動

寒さが厳しさを増し、体を動かす機会が少なくなってきた 12 月 8 日（月）、ブラウブリッツの蜂須賀さんをお招きし、体育館で、じゃんけんゲームやボールを使った運動、ミニゲームなどで体を動かしました。蜂須賀さんとのサッカーを楽しみにしていた生徒、運動は苦手だからと緊張している生徒など、交流が始まるまで生徒の思いは様々でしたが、蜂須賀さんのリードでみんながボールに触れ、笑顔が絶えない楽しい時間を過ごすことができました。「楽しい！もっと遊びたい」「もっと時間があつたらいいのに」「次に会えるまでもっと上手くなる！」など次回を期待する声も多く、体を動かす楽しさを知るよい機会となりました。



ゆり支援学校は地域交流・地域貢献活動をこれからも続けていきます。今後も地域の皆様と学校が協力し合い、本校児童生徒の自立と社会参加をサポートしていければと願っています。

これからもよろしくお願いいたします。